

命ニ依リ別項ノ視察ヲ為シ謹テ報告仕ヌ也

明治廿七年二月十日

海軍少尉

井出謙治

海軍大尉

村上格一

吉野艦長河原要一殿

造船所及船渠景况

孟買市に造船所ト稱スルモノ三所アリ一官有造船所ト他ヲP.O.會社造船所ト云テ

其造船修理用船渠ナリ有ス又此船渠修理用船渠ノ外当市沿岸ニ三所ノ船渠設ス

官用船渠アリ前者ヲ乾船渠ト云テ後者ヲ濕船渠ト稱ス

官有造船所ハ孟買埠頭ト稱ス向ニ西曆千七百三十五年東印度會社ノ創設トシテ

コレヲ承年ヲ追テ盛大ニ起キ八百十一年ニ五個ノ乾船渠ヲ有スニ至リ往時木船時代

ニ當リ英國軍艦大小十九艘(最大者モ千四百トシ)印度海軍小艦十七艘千七百トシ

千七百トシニ乘商船六十六艘ニ數多小舟ヲ以造船所ヨリ進水ト一時全盛ヲ極メリモ木船

癩々鉄船世ニ出ルニ及ビ英國於テ製造スル方違カシ廉價トシ且印度海軍ヲ癩々トシ

ヨリ千八百五十四年以來大船ヲ新造ヲ為ス故ニ諸工場規模縮カシ當時造船所ト云

ハヨリ寧ろ船渠修理所ト稱ス方當ナリ

所由使役人斯ニ夫平均日三百人弱工場長ニ重シ英人ニテ通常大修理ト爲得ル

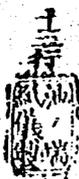
十九可ク免シ自印度才ノ造船所ト云

又構以海岸、此英國東印度艦隊用、炭庫六棟あり其容積千噸外ヨリ是又談
 艦隊用倉庫アリト告氏其内知ヲ親能ハカリテ以テ詳細ヲ知能ハク
 海岸、一個ノ峯重機アリ水壓力ヲ以テ直轉スルモノニテ千噸ヲ峯重ニ足ル又艦渠ノ外方ニ他
 ノ峯重機アリ人カヲ以テ動作セシモノニテ千噸重力ニ千五百トス此他峯重力千噸ノ洋用甚
 後峯重機艦一艘ヲ備フ

当座艦所乾船渠ノ容積次ノ如シ

渠名	長さ	入口幅	干潮時水深	記
オールド、ボイ	上 二〇九呎	四七呎七吋	一四呎	三渠ヲ合テ長さ六四八呎
ベイ、ドック	中 一八三呎	五二呎〇吋	一七呎	一渠トスルヲ得
	下 二五六呎	五二呎〇吋	一七呎	
カシガシ	上 二八六呎	六三呎一〇吋	一八呎	二渠ヲ合テ長さ六三三呎
ドラ	下 二四六呎	六三呎一〇吋	一八呎	一渠トスルヲ得

右艦渠外ニ於テ干潮時ノ水深十七呎ナリ



以他尚一小船船渠下其谷積ヲ詳カニ能クト自是水雷艇着ハルノ如ク小舟ノ穴充テ定
ルニ

船渠ノ南方海ノ面ニ四個ノ船台アリト會社前庭ノ如ク當時新造船キヨクニ以テ委ク端艇置
場着ク修理場ニ充ツ

P.O 會社造船ノ旨孟買市北端ニ於テ在リテ今會社所有ノ船舶修理為ニ設置セルモノニシテ
獲テ運河原ヨリ往時ニ在テ其必要ナリト相違ナキモ今運河相通シ且船舶ノ構造好良
ニ越シ今日ニ往時ニ比シ斯レ獨有ノ工場船渠モ大ニ其必要ヲ減ク可ク大伴ノ景況漸次縮
少状ヲ呈スル自然ノ勢ニテ惟ト云フニ足ルナリ一以テ工場倉庫及乾船渠ニ通リ備ハリシル
自己ノ便利ニ任セラザ普通一般商賈的造船ノ觀ヲ在ス
構ハ之概況次之如シ

乾船渠

ニテ所

一長山内六呎幅六呎深于潮時水深八呎

一長山内百呎幅三呎深五呎

而于左者一呎半深三呎用土堆成如右者其蒸氣排水唧筒備

校械工場 一棟

旋盤工場 模型場 鍛冶工場ヲ有ス

鑄物場 一棟

小形ノ鑄物ヲ得ル

倉庫 一棟

倉庫 三棟

内一棟、新製船具類ヲ收メ一棟、炭倉庫ニ充テ一棟、入渠船ノ物置ク陸場

スニ用ユ

模型場 一棟

一端斜ニ海ニ入り端艇ヲ引揚ゲ修理サ蓄藏スルニ便ニス



石灰庫 外壁タタキ

三棟

一棟 大凡一千噸ヲ入ルニ足ル

石灰積上ノ置キ空地

一段計リ

石灰積上ノ貨物上下ノ為メ特設ノ二階蓋置キヲ設ケ只構皮ノ鉄路停車場ニ連絡スルニシ

清水タンク 一個五トシ位

六個

入庫船舶ノ用ニ供スルモノニシテ大形ノカ唧筒ヲ備ヘリ

役員用住宅兼事務所 一棟

構皮ノ一階橋間清冷ノ位置ニテ大屋ニシテ総ラノ工場倉庫ヲ含スル此一棟ニハ

ガレシ

港奥ノ小島ヲ称スル小島ニP.R.會社ニ屬スルパイロリアフトトリアートニツ視察ヲ使ヲ得ス情

況ヲ知能スト船尾七ノ乃至八ノトシテ重量力アリト云フ但シガレシニ乾船渠ノミシラ不足ヲ

告ル場合ニミテ使用スルモ如シ

本埠頭、南方綿糸、歴結會社ニ接シ、一、濕船渠アリ、ガニシトシ、トモ、規模、然、吃水、十八呎以
 下、船、僅、二、艘、ヲ、容、シ、是、人、是、一、往、時、当、布、唯、一、濕、船、渠、ナ、リ、モ、南、洋、業、貿易、ノ、發、達、ノ、障、ヲ
 大、濕、船、渠、ノ、新、造、ヲ、但、シ、投、資、ノ、北、方、ノ、河、リ、モ、及、同、サ、ト、リ、セ、ト、絲、糸、三、天、濕、船、渠、ヲ、築、造、ス、
 等、リ、

一、八、月、廿、五、日、起、工、全、年、一、竣、工、ガ、サ、ト、リ、ヤ、船、渠、ハ、今、八、十、五、年、ニ、起、工、全
 一、九、年、ニ、竣、工、シ、ル、モ、シ、ラ、二、渠、相、隣、シ、規、模、廣、大、貨、物、上、下、方、法、陸、便、ト、聯、絡、固、到、ル、
 モ、如、ク、作、シ、ラ、東、洋、オ、一、ノ、濕、船、渠、ト、云、フ、蓋、シ、願、致、シ、テ、可、シ、

一、八、月、廿、五、日、起、工、全、年、一、竣、工、ガ、サ、ト、リ、ヤ、船、渠、ハ、今、八、十、五、年、ニ、起、工、全
 一、九、年、ニ、竣、工、シ、ル、モ、シ、ラ、二、渠、相、隣、シ、規、模、廣、大、貨、物、上、下、方、法、陸、便、ト、聯、絡、固、到、ル、
 モ、如、ク、作、シ、ラ、東、洋、オ、一、ノ、濕、船、渠、ト、云、フ、蓋、シ、願、致、シ、テ、可、シ、

是、等、ノ、船、渠、内、ニ、於、テ、石、炭、ノ、陸、揚、着、ニ、格、載、ヲ、許、ス、蓋、シ、書、布、オ、一、ノ、輸、出、品、ト、綿、花、ヲ、活
 ス、ラ、辟、ニ、カ、ク、ナ、リ、



右兩濕解渠要領別表及圖面之如

皇壽濕解渠外港岸、小兒河、北門、雅利、小形、船典、泊、貨物、上下、交通、足、多、水

府甚、多、淺、干、潮、時、船、多、多、膠、元、見、凡

別表

Net Locks.

	Prince's Dock	Victoria Dock.
Width of Entrance { North.	66 ft.	80 ft.
{ South.	55 "	
Depth of " Sills below L.W.S.T.	14 "	16 "
Width of Passage.	64 "	64 "
Depth of " Sills below L.W.S.T.	16 "	16 "
Water area.	30 acres	25 acres.
Linear Feet Quayage (total 2 1/2 miles)	5,960 ft.	7,425 ft.

0394

Area of Transit shed	331,260 sq. ft.	307,642 sq. ft.
cranes, 100 tons.	—	1.
" 30 "	1	—
" 20 "	—	1.
" 30 crabs (total 102 tons).	47	55
Ware houses		
Opposite Prince's dock Nos. 1 to 7		123,500 sq. ft.
" " " " 8 & 9 (temporary)		15,660 " "
" Victoria Dock A.B.C.D.		129,600 " "
	Total =	268,760 sq. ft.

0395

More weather Dry Dock.			
Length	over blocks	Caisson in inner groove.	500 ft.
		" " outer "	525 $\frac{5}{6}$ "
	over all	" " inner "	538 $\frac{5}{6}$ "
		" " outer "	557 $\frac{5}{6}$ "
Width of Entrance.			65 $\frac{1}{2}$ "
Depth over sill H.W.O.S.T.			28 " 30 in.
" " " H.W. Ex. S.T.			30 " 5 "
" " blocks H.W.O.S.T.			26 " 2 "
" " " H.W. Ex. S.T.			28 " 4 "

0397

軍艦商船出入数		入港艦船	
国名	軍艦	商船	軍艦
英國印度			四六
日耳曼	不	不	二
奧地利			二
波斯			一
仙蘭西	詳	詳	〇
亞刺比亞			〇
匯米利加			〇
以太利			〇
			二七

最近調査、於此軍艦商船出入数次如レ

千八百九十一年三月千八百九十三年三月迄

千八百九十三年三月千八百九十五年三月迄



後嶺教

二〇二二、六三九

一九〇五、二七四

全

減ス一、二七、三五五

大畧前二表ノ如クシテ軍艦ノ出港教ヲ詳知ス能ハリシモ漢國及ビ印度政
府軍艦外自國軍艦ノ寄港スルモ實ニ僅クナリトス

孟買沿岸風景

孟買島面積ニ二英里ノ超ヘザル小島ミテ南北ニ長ク東西ニ狭ク而テ其北
端マシハ浅ク且ツ狭ク海峽ヲ以テ南方ノ大島ガルセトト障ラセシモ今ハ此海峽ヲ
埋メノ一帯ノ長堤ヲ以テ二島ヲ連接シ鉄軌ヲ走ラス

島中ノ南方ニ条ノ山脉アリ相距ルニ里共ニ南北ニ是レ島ノ南西端ヲ以テ最
高ノ地ニシテ其高ク百十呎ナリ孟買市ハ此南岳ノ岳脚ノ低地ニナリ

司ハル、此ノ南西端ヨリ島ノ北端司トハニ至ル間延長八哩ノ沿岸小湾多ク



尾尾僅カ、澳舟ヲ泊スニ足ルニ止マズルニ止ト島ノ南端ヨリ岬ト間一丈湾ヲ走ト
 借尾海府岸を多ク且南西ニ面スヲ以テ南西位ハ時ニハ浪猛烈到底船ヲ舫
 不可ス此大湾ノ「バックス」ト云フ湾ノ西端ハ樹木鬱蒼然岳陵ニテ市中ハ富貴水
 多ク此辺ニ住ス而シテ西赤岡ノ沙湾ニ沿テテ鉄道及ビ廣闊ニ道路アリ
 此海湾ノ大路ハ毎夕車馬輻輳四民群集ト雖亦盛リ極ム蓋シ比前ノ海湾ヲ冷テ取テカ考
 ナリ

島ノ南方一休ヲヨリバト称シヨリ北カヲヨリト云フ蓋シ此兩地重ト英人居住ニ所
 ニテヨリトハ英國入市街ノ所ナリ「ヨルト」北カヲヨリト云フ人市街ト云フニ地共ニ西方ハヨリト
 ニ望ミ東方ハ孟買港ニ瀕ス人市街ノ東北端ヲ「ガガ」ト云フ是ハ孟買市東岸ノ
 北端ナリ且シヨリト云フ里余ニシテ島ノ北端ニ産ス其南沿岸澳村ノ教点ニアルト
 「ヨルト」ヨリ「マカゴ」ニ到ル東岸一帯海ニ瀕ス所ヲ孟買港ト云フ相要ノ地ト云フ而シテ
 船舶輻輳南來北往ノ極ニ人市街ノ東端海ニ面ス所即チ「アリ」ト云フ及ビ
 「カガ」ト云フ也船渠ノ所ナリ「ヨルト」南カト云フ

英領印度孟買市兵制視察報告

孟買兵制視察ハ本船碇泊日救僅少ニシテ加ナルニ要部ハ
秘密ナルヲ以テ充分ニ其目的ヲ達スル能ハサリト重氏其大
畧ヲ記スルト左ノ如シ

印度船隊ニ二種アリ一ツハ英國ヨリ差遣セルモノ一ツハ印度
政府ノ直轄ニ在ルモノニシテ其英國ヨリ差遣セル者ハ左ノ
船隊ヨリ成リ其本部ヲ孟買トシ爰ニ船隊司令長官ノ官
舎アリ此船隊ノ管轄區ハ印度及ヒ錫蘭沿岸、亞丁、ソマ
ル、シヤ、マラ、及ビソマール、ガル、マラ、沿岸ノ全部トス



船名	船種	排水噸數	実馬力	武装	記事
Boadicia	2 nd class Cruiser	4140	5130	2. 6-in. 5-ton, 12. 90-Cwt. M.L.R. 4. 6-pdr. Q.F., 2. 3-pdr. Q.F. 10 Machine gun 2. Light gun, 2. L. Car.	Flag ship
Bristle	3 rd class Cruiser	1770	3600	6. 6-in. 5-ton, 8. 3-pdr. Q.F., 2. Machine gun, 1. Light gun, 2. L. Car. 1 f. tu.	
Cossack	"	1770	3600	"	
Marathon	"	2950	9000	6. 6-in. 5-ton, 9. 6-pdr. Q.F., 1. 3-pdr. Q.F., 3. M. G. 1 Light gun, 2. L. Car. 2. f. tu.	
Lapwing	gun boat 1 st class	805	1200	6. 4-in. 25-cwt, 2. 3-pdr. Q.F. 2 machine gun	
Pigeon	"	755	1200	6. 4-in. 4 machine gun.	
Redbreast	"	805	1200	6. 4-in. 25-cwt, 2. 3-pdr. Q.F., 2. machine gun.	

0404

印度政府ノ直轄ニ在ル者ニテ、救艦ヨリ成リ印度艦隊司令長官之ヲ指揮ス

艦名	艦種	排水噸數	実馬力	武装	記事
Abyssinia	Armoured C. d. S. t.	2900	950	4. 8-in. 14-ton, 5. machine gun, 2. light gun.	
Magdala	"	3340	1440	4. 10-in. 18-ton M.L.R. 4. machine gun.	
Assye	1st class or torpedo gun boat	735	4500	2. 4.7-in. P.F., 4. 3-pdr. how. 1.5. in. + 2. S. car.	
plassy	"	735	4500	"	

7 Torpedo boats.

0405

<p>印度鎮台ハ之ヲ三大部ニカツ「ベンガル」鎮台、「マドラス」鎮台、「ボンベイ」鎮台ト云フ各陸軍中將之ヲ指揮シ陸軍總督全軍ヲ惣轄ス</p>	<p>孟買滞在ノ兵ハ「ボンベイ」鎮台ノ分遣隊ニシテ先任陸軍大佐（陸軍少將ト大佐トノ中間ニアル官ナリ）之ヲ指揮ス其兵數及ヒ兵種ハ左ノ如シ</p>	<p>砲兵 三中队</p>	<p>歩兵 一隊</p>	<p>土人歩兵 二隊</p>	<p>砲兵ノ携帶セル小銃ハ短馬銃ニシテ歩兵ハ連發銃土人歩兵ハ長馬銃トス</p>	<p>兵舎ハ孟買島ノ南端「コラバ」ニ在リテ其構造ニ二種アリ一ハ新築ニ係ル者ニシテ歐風ノ石造ナリ一ハ舊式造ニシ</p>
---	---	-------------------	------------------	--------------------	---	--

テ我カ俗屋ニ類似ス管内酒保アリ弄球場アリ舞樂室
 アリ展覧所アリテ操練時間外ハ何時タリトモ兵舎ヲ
 出ツルヲ得ルト云フ歐兵ハ皆帶妻ヲ許サレ其帶妻セル者
 ハ兵舎内ニ小家屋ヲ與ヘ一ヶ月ハルビ一ノ加俸ヲ給シ一
 子ヲ養ハル毎ニニアルビ一ノ加俸ヲ支給ス土人兵ハ百人
 ニ付二十人ノミ帶妻セルヲ得是亦兵舎内ニ居住ス兵舎ハ
 一ツノ構牆ヲ結ハスコラバ半島ノ平原ニ建築セルノミ土人
 ノ兵舎亦全シク市街ニ近接セル所ニ在リ

孟買ノ海岸防禦ハ左ノ諸砲台ヨリ成ル（裝砲ニ隱显砲
 架ヲ備フル者アリ）

別章孟買港畧圖ヲ以テ其位置ヲ示ス

A ヲクロス島——ハ港ノ北端ニシテ海岸ヲ距ル千碼ヲミソ

<p>ドルグラウンド砲台ヲ距ル四千碼ニ在リ未ダ工事中ニシテ 一ツノ兵装ナキモ工事終功セハ十二五才砲一門・九才砲及ビ 四十斤砲各二門ヲ裝備スル豫定ナリト云フ</p>	<p>Ｂ 三ツドルグラウンド砲台ヲ距ル東北四千碼ニ於テ一ツノ浅灘 アリ其深サ十二呎之ニ小砲台ヲ築キ四十斤砲二門ヲ裝備 セリ</p>	<p>Ｃ 三ツドルグラウンド島——ハ殆ント港ノ中央ニシテ海岸ヲ距ル 千八百碼ニ在リ鉄楯ヲ以テ防禦セル九才前裝砲二門及 ヒ砲塔内ニ裝備セル全至砲一門ヲ裝備ス而シテ是等ノ砲 ハ水面ヲ距ル僅ニ數尺ニ在リ</p>	<p>Ｄ 三ツドルグラウンド島——ハ海岸ヲ距ル千碼ヲ三ツドルグラウンド砲 台ヲ距ル南西三千碼ノ処ニ在リ此砲台ノ兵装ハ九才砲三門 十二五才砲二門ヨリ成リ高ホ十才砲及ヒ七才砲各二門ヲ増</p>
---	---	---	--

装スルノ計畫ナリト云フ

E 軍飛繫泊場ニ面シ禮砲用砲台アリ

F 港口ノ西北ニマラバポイントアリ之ニ砲台ヲ築キ砲塔ニ九

十砲三門ヲ備フ又十二五十砲一門、十十砲及ヒ七十砲各二

門ヲ加装スルノ計畫アリト云フ

G コラバト半島ノ南端ニ砲台アリ十二五十砲一門、九十砲

三門ヲ有ス尚ホ此砲台ニ十二五十砲及ヒ十十砲各二門ヲ

増加スルノ計畫ナリト云フ

H マラバポイントノ北方ニマラルクスミイ砲台アリ十二五十砲

二門、十十砲三門及ヒ九十砲一門ヲ備フ



右報告仕矣也

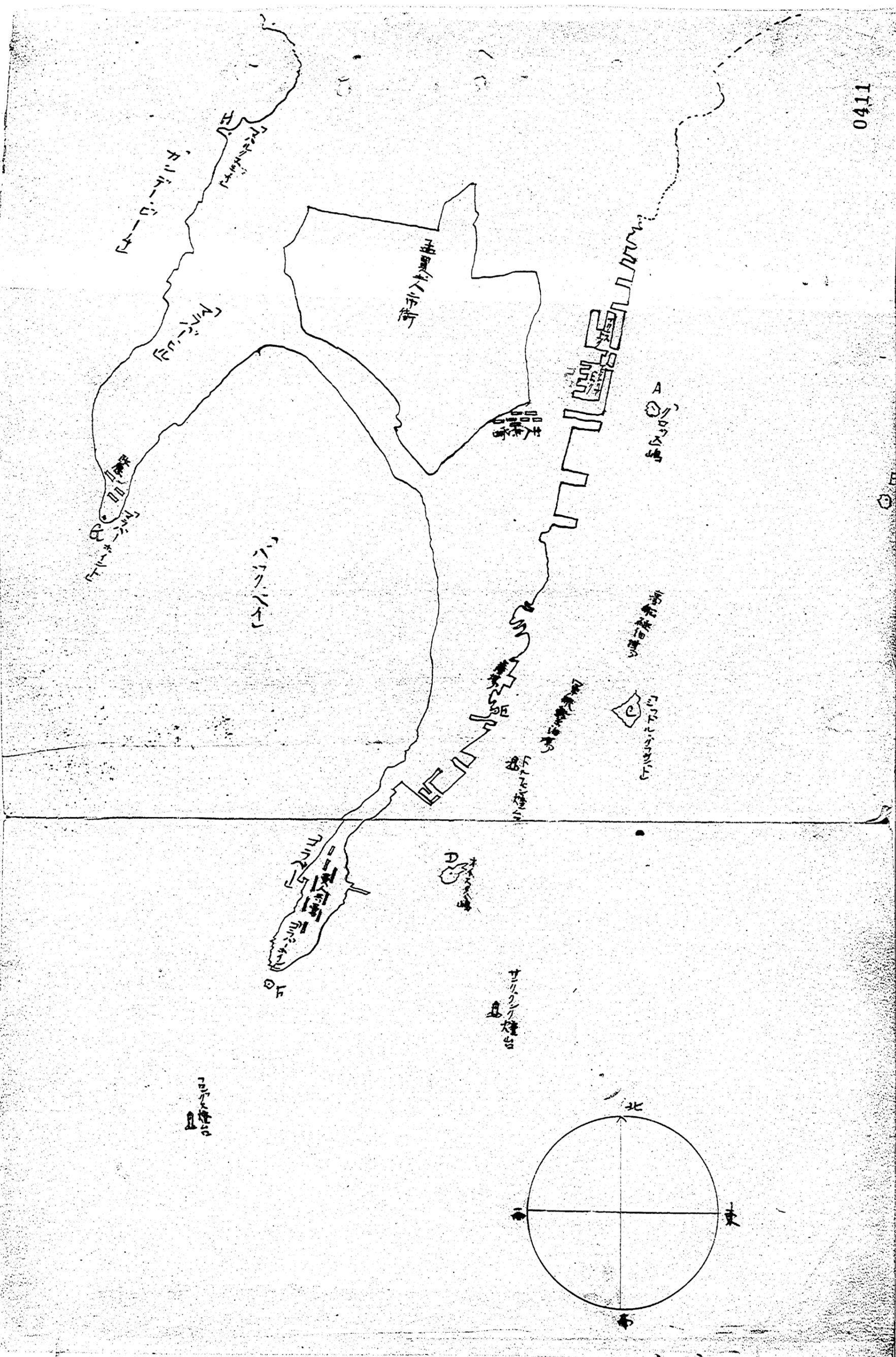
明治廿七年二月三日

海軍少尉 田所廣海

海軍大尉 西紳六郎

海軍大尉 加藤友三郎

吉野艦長河原要一殿



孟買諸機械工場視察報告

印度国内に於ける各種製造業の發達に隨て孟買市諸機械及鉄材の需要益々隆盛に於たり云々四五年以前に在るの器械及鉄材製造品の専ら海外より輸入品に依りしはも漸次外人の此地に製造業を起すモノ増加し現今に至る英國に於ける製造所と競争スルを得べき價格ヲ以テ販賣し得ん者機械ヲ製出スルに至り今此市に於ける車モノハ各種製造所ヲ列記シテ其概略ヲ示サントス

諸工場中最も大ナルモノはリヂヤードソンクスタム會社ト稱し印度中最も有名ナルモノ如クシテ該會社の支工場トモニテ所製製造所ハ有し本社ヲハイコングラに機械工場トモニシテシラスミットロード支工場ト云フ西工場及諸倉庫共總計面積四万平方ヤード即チ一千ハルツト廣がり場内縦横ニ馬車鐵道ヲ敷設シカレ

一ニ其他各種の運搬機ヲ備へ其使役スル所ノ十人工夫日々十

三百人ト下ラステ又人若事業ノ頭人トナリテシテ
 所ノ各種機械ノ改良精銳ノモノニシテ遙カニ英國屈折ノ會社
 ニカササルノ觀アリ
 鑄鐵所ノ長サ四百六十呎巾平均七十呎ニシテカ
 箇ノ鑄鐵爐ヲ備
 ノ最大ノ鑄鐵物三十一トノモノヲ製造シ日
 計百五十噸ノ鑄造
 ヲ成スリ得鑄鐵所ノ長サ三百八十呎巾八十
 呎ニシテ百三十
 噸ノ鑄鐵物ヲ有シ六
 十トノ鑄鐵爐ノ
 汽力整平器ボルト
 及
 リゾット製造機ヲ備
 ヲ東カ無油車
 於テノ鑄鐵所中
 首近クモ
 カルモノト云フモ
 敢テ過言ニテカ
 ルゾ
 橋梁組立機ノ新設
 ミシテ長
 百二十呎巾六十
 呎ノ長サナルノ
 ン
 有スル橋梁工
 事ヲナスミ
 交分ナル場所ナ
 リ此場内ニ於テ各
 部分ノ組立ヲナ
 シ強力試験
 機ノ執行ヲナシ
 タル後用ヒシラ分
 離シ以テ架設ス
 ギキ地ノ運搬
 此所ノ初メテ真
 岡ノ結構ヲナス
 ノ方法ナリト云
 フハ種ノ工事
 也



供スルタメ改良セル種タリ悉極リ有ス就中「エツチ。プー」ニシテマシ
 如キハ最も大敷ナル鉄板、鋼釘及鋼釘ヲ同時ニ削平スルヲ得ルキ
 モノナリ此ノ力及水力ヲ釘板ハトウインデルニシテ移動形ノモノニ
 シテ仰ノ懸架運板板ノ下ニ装置スリ種カニ工夫一人ノ力ヲ以テ
 工場ノ一端ヨリ他端迄迄至ム所ニ移動シテ打釘セシトスル物也此
 板セシムゾリ月々製作靜カニテ往時ノ人力打釘ノ如キ騒音ニテ月々
 工率ノ不確美ナルニ比スル途カニ重大ナル橋梁工率ヲ成セリ
 「コロラット」市「ズギ」橋(九十呎ノ長サヲ有スル「エー」ニ「ガ」タ「ス」ル「三」四)
 「ヒル」國「ロ」ハ「ア」ズ「ド」ウ「イ」橋(長サ百。七呎「ス」ル「二」四)及「同」國「セ」ル
 「キ」ヤ「橋」(長サ百。七呎「ス」ル「二」四)「業」皆「此」工「場」ニ「於」テ「架」設「セ」ラ「レ」
 タリ「其」他「ノ」橋「ニ」テ「ハ」社「ノ」工「率」ニ「成」ル「モノ」到「ル」所「ニ」嚴「在」ス「上」ニ
 「示」ス「橋」梁「工」率「ノ」製「造」業「ニ」異「ナル」一「ツ」キ「ヲ」以「テ」所「求」ル「工」場「カ」シ
 テ「ハ」マル「チ」プ「ル」ド「リ」ニ「シ」テ「概」ル「リ」エ「ン」ニ「テ」ガ「概」及「ウ」ル「ザ」ニ「シ」テ「概」

井ノ浦ノ業務ヲ擴張シ大形汽罐ノ製造ヲナスニ至リテハ
 井ノ浦ノ皆ク積極的ニ用テ鋼鉄製ラカカーアノ形汽罐ニシテ
 直徑七呎長サ三十呎使用壓力百斤ヨリ百十斤ノモノヲ通
 列トス此業工事中政府ノ汽罐監査官未テラ監督シ汽罐
 條例ニヨリテ証状ヲ附與スト云フ
 各廠解工場ノ合同營業スル長サ三百七呎巾五十二呎
 ノ場所ヲ有スルガ新設改良ノ各廠ヲ備フ
 此會社ハト云ニス器機製造業ニ加リ各種鋼鉄鉄銀
 業ノ諸材料及若者器械ノ輸入販賣ヲナシ且ル街ノ倉庫ニ
 各種ノ吸筒類機用道具鋼材鉄材鍊鉄管鑄鉄管
 並ニ鋼卷用ニ信用石炭及ヒ鑄鉄用ニ供スルノコトヲス等ノ
 多量ヲ貯藏ス
 土人ノ工夫技術歌達ニ彼等ノ仕上タル物品ヲ觀望スルニ主々



鉄人の子に成りしモノに勝るハカルヲ見ル
 以合社ニテテラストムザービナルセントヤー氏合司受クシテ
 ルリボクニ極大工博アリノ重モニ造業ヲナシビノナリヤ船
 渠ニ面スルゾールニ街ニアリ中央ノ海路ニ出テ線要ナル位置
 ナトム備ル所ノ番帳モ亦整頓シ重ナル施設工事ヲナ
 スリ且つ最大重量ニ十噸ノ物ヲ吊リ得造スルヲ昇
 装飾的家具及ク扉業ノ鑄造ナシタルモノヲ見ルハ鑄皮
 鷹平湯ニシテ物更然ラ実ニ片海鮮明ナリハ他製鑄及
 鑄鉄ノ工事モ亦能及クナリシガハナリシカハ極大工博ノ
 特種機及ビ橋梁ノ工事ヲナサヌ
 以合社ニテテナシタル技藝ハ工事中ノマシムハ鐵道合社ノ
 タメニ架設シタル鐵橋長サナリシハ一トガハナリシトモ
 大ナルモノトス其セハ特種機用ノモノ鐵柱及波動板鉄板等ヲ製

造之使受スル工夫大カク四百人余ナリ
 右ニテヤル西倉社ノ規模大ニ工率敷達ナリハ故天軍モ陸用者
 概其世家屋橋架ノ工率ニ従事スルモノニテハヤル経費港ニ出
 入スル者船船ノ汽機汽種等ノ修繕工率ヲ專イテスルモノハ尚ホニ合
 社アリテマザルニテ工率ニ工場ト称シカルナリナリ支工場ヲ
 有スヤラモゼビーニ工場ト云フハ西会社共各隻ノ修繕船ヲ
 有シ日々港カニ碇泊スル各船船ヲ巡回シ工率注文ノ有無ヲ
 尋ねヨリニ目録ヲ手ノ
 マザルニテ工率ニ工場ト称スルハアノ口波止場ヲ去ル四哩マザ
 ルニテカスルニテ波阿合社船渠ニ接シ建設セラル具船ノ千ハ
 百六十年則チ今ヨリ三十三年船渠ノ修繕工率ト云フ英人アルカ
 ルニアカカチニ及ビジツプカーストニ合同設立ノ会社ナリ全体ノ
 廣サ九十平方マイル余ノ工場中最モ大ナルモノヲ鑄造所トス



0418

鑄造所ノ全体ノ三分二ヲ占ム其内上等ニテ懸梁運搬機ヲ備
 一各車庫カノ一部ノモリナリ大シニテノ扇爪板及ヒニテノ熔鉄爐
 等カノ最大重量三十噸ノ物ヲ鑄造スルノ時日々鑄
 造スル處ノ黄銅及鑄鉄ノ平均七ノ噸ナリト云フ
 旋盤所ノ鑄鉄所ノ邊ニモ車庫ノ内ニ在リコローラ機大シ
 一テノ二ノ機大形カモアルニシテ機三台内ラガヤル形ニテ
 ニシテ機一台目ノ重カノ物品ヲ運搬スルモノ懸梁運搬機ニテ
 一ニシテ機二台目ノ重カノ物品ヲ運搬スルモノ懸梁運搬機ニテ
 博者器機運搬用トシテ十二馬カノ汽機及汽罐ヲ備フハ所ニ
 於テ一テノ汽機ニ鑄鉄ノ管ヲ取テ是ハ直率大カクハ長
 四呎ノ使用壓力百ガニシテ作工場ニ目今製造中ノ汽機
 用ナリト云フ
 鑄鉄所ノ全体ノ重カノ十分一ヲ占メ鐵器用ノ火床十ニテノ汽機

道列車諸金物ヨリ家屋建築業用鉄材ニ至ル迄大小各種ノ
 工半ヲナス
 以会社ノ支工場タルカレ方アミミヤナリハハツトリヤノ販業ニ
 接シ際サテハ百平方ヤリノミテ煉ノ工場中ニ製錘機盤鑄
 造及鍊鉄ノ工場ヲナスヲ得本邦産十匹カ台ノ以テ板ノ板
 十台大板二台、ボクチンダノ板二台用板大ノ各台、ブローチンダノ板
 大板二台、ラヂヤルドリノ板二台、ヤリノ板大板一、台、熔鉄爐
 一時十台、熔鉄ラナシ、鑄キモノニテ鐵器用火床ノケ、ニヤリ、汽爐及
 以形、ローラマシ、昇ヲ精ノ目ノ石炭消費半ノハナリト云フ其倉
 庫三棟ヲ有シ各種ノ煙管、角鉄、山鉄、鋼板、鉄板、及各種ノ
 鉄鎖、板機用油ヲ貯ノ旨ノ使用ニ使ヒ又、要スルモノニテ
 取替スルニナラフ
 マカ、コト本社ニ英人三名、カレ方、支工場、英人一名、カ

名 冊
 名 簿
 名 簿

ドウクヤードより諸造船工場の船隻の修理に用いた。その口彼止場への前
 在テ救棟ノ後奥工場ト船渠トテ取テ取テ規模甚大ニ仕ナリト
 是ノ内構内敷地積ヤクテ觀ルニ岸ノ中ニ工場ノ新築ニテ二箇
 ノ大船渠ヲ設ケテラオールドボシターダラト稱ス七十百三十九年
 ノ築造ニカナル其延長ハ四百廿ノ呎ニテ區劃ニテニケルノ船渠ニ
 分ツ各テテアブノンノルニ及ヒローナボシターダラト稱ス其
 中半七呎ノ時長サ二百。九呎ノ中半七呎ノ時長サ百十三呎ノ
 其巾ノニサハ二百廿六呎ノ長サ有スセノ船渠ヲダカニトシテ
 稱ス（船渠ノ名ヲサシメテ各船渠ノ長サヲ示ス）トクニ又アブノ及ヒローナノ二船渠ニ区分
 セルノ百廿六呎ノ成リノ時ノモノナリトシテノダカニボシターダラト稱ス
 百ノ十六呎ノ中半七呎ニテハ船渠中ノ最大ナルモノナリトローアダン
 ドウクモ其巾ノニサハ二百廿六呎ノ長サニ百廿六呎ノ時長サニ百三
 ノ費ニテ五百三十二呎ノ大船渠ヲ形造ラシメテノ新築ニテハ

信報館より過ギン行末鉄材應用ノ新進ノ月々日本國より英
 信報館事業ノ大ニ發達シテ鐵材ノ輸入ノ至テヨリノ美出也
 信報館新金ノ工ノ事ヲ之ヲ由國ニシテ唯修陣ノ工事ニシテ
 止タラヒタルニ在リ
 板屋工場ノ新築ヲシテ建ラシムル大屋宇長サ四百呎巾四十呎
 高サ十二呎ノ内ニアリテ畫ヲ以テ落シテ工場ノ別タル場内ニ
 上下二床アリテ上床ニ送テ下床ニ板木ヲ備ヘ特置ノ板
 美ニヨリテ軍艦セラルルアリシガ「フ」ニシテドリニシテ「ス」ロウキガ
 兼テ各種ノローズ「キ」大般ノ板ノ其奇類ヲ別タル
 下床ナル各工場ニ置キ置キタル「カ」テ「キ」諸板ヲ軍艦セラル
 ムルタメニ用ヒテ置キ置キ「マ」リテ其用カ「ン」セ「ン」テ「カ」ス
 「フ」テ「カ」ル「ン」ター「ン」再「工」場ノ相連接ニテ「キ」屋宇ノ相連
 リ「キ」シラ「ク」ル「ン」再「工」場ノ相連接「カ」テ「キ」屋宇ノ相連

東洋ノ市場ノ博シクナルヲ

右表ハ東洋ノ大等主クモ清國ニ年々輸入シ来ル綿糸ノ量

漸クナリテ近年可成ク産綿絲ノ如何ハ英國産ヲ壓倒シテ

アルカ其ノ詳表ヲスルニ

年次 英國ヨリ輸入者 印度ヨリ輸入者

一八九年 六〇、四四三カ 六二、八四三カ

一八九〇 八〇、三四九六カ 九三、三四五二カ

一八九一 七三、〇八五二カ 一一三、八〇三カ

一八九二 四九、〇九三九カ 二五、四八九カ

以上表ニ據テ見ルニ清國ノ年々

輸入スル其需用ヲ増加シタルニ

英國ヨリ輸入シテ亦減退シ印度絲

漸ク増加スルヲ見ル

以上表ニ據テ見ルニ清國ノ年々



Handwritten Japanese text at the top of the page, likely a title or header for the table below. The text is written in a cursive style and is partially obscured by the table's border.

年次	紡績量 2枚	運轉筆枚	紡織機、枚	工夫、枚 (平均)	消費電力 (平均)
1866	13	309911	34556	7733	不詳
67	"	313597	3779	8630
68	"	318184	3844	8715
69	"	321414	3920	8857
70	14	343460	4441	9503
71	"	358436	4641	9953
72	15	367036	4653	10216
73	18	430156	4972	12217	74924
74	19	524530	6103	13323	91329
75	36	886098	8339	15696
76	39	963983	8681
77	41	1043944	9291	24174	179800
78	42	1104846	11544	31670	232048
79	"	1147310	12311	34482	212744
80	"	1154184	12396	35060	257708
81	"	1158510	12510	37028	311932
82	49	1237536	13046	37567	314928
83	51	1345042	13616	40977	354232
84	60	1542499	14299	44900	413028
85	68	1650036	14588	51426	465980
86	70	1698797	14635	54179	480344
87	75	1779220	14926	54715	522456
88	82	1820368	15564	59199	597066
89	91	2002994	16677	65580	667698
90	94	2350728	17735	73209	751986
91	91	2360170	18487	78121	893080
92	96	2380178	19117	79951	849490
93	98	2499211	21425	83966	837268

Walter W. Co. Jackson St. W. Co. Jacksonville
W. Co. Jackson St. W. Co. Jacksonville

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a ledger or account book. The text is dense and difficult to read due to the cursive style and overlapping characters.

土持
[Red Seal]

工夫の餘料に河も月極メヲムテヤムテ彼等が勉不カレヨリ
 結果の野に仕高に運ヒテ各スイドソ
 新精材出ハ所屬地葉等ノ英國ヨリノ輸入ニカレモ多
 し現年最モ少シハ其ノ米用セラルモハ *Mexico Demand*
4 Bull Market In Commodities and Cattle
Mexico Market Demand 等ノ製精材ニモノ多クナリ
 也。右等ノ製精
 世界ノ各産地ヨリ採集ノ向テ葉等ノ米ノ右等ノ輸入年額
 ンハ其ノ河々ノキヤキタ等ノ製精材等ヲ採集シテ其ノ精
 油ナリ其ノ査スルニ由ナト云ハ其ノ製精材ニ多クナリ
 ンカニ其ノ製精材ノ製法ニ其ノ製精材ノ製法ニ其ノ製精材
 百位ノ製精材ノ製法ニ其ノ製精材ノ製法ニ其ノ製精材
 右等ノ製精材ノ製法ニ其ノ製精材ノ製法ニ其ノ製精材



本港運ニマシテハ 若無運載ナラバ
 十月五日ハ 則チ 野講南西濱川
 本字野ニ際シテハ 力成積ニ強ク 如講本張
 一ノカニ 難キガ故ニ 講本張ニ任ズ
 港内深ク 積ノシヨクニ 中ニ 敷字白キナルヲ 講本張ニ任ズ
 寄港ヤシク 言ハシヨクニ 積スル 最モ 平積ナル 本字野ニ任ズ
 積カニ 波ナリ 果シテ 積列ナラザルニ 積ハ 講本張ニ任ズ
 積列ナリ 積列ノ 積ハ 講本張ニ任ズ
 貝積ノテ 田積ノ 積ハ 講本張ニ任ズ
 三杯ヲ 又テ 積トセサルニ 故テ 積ハ 講本張ニ任ズ
 積ハ 講本張ニ任ズ 右ノ 積ヲ 天秤ニ 積テ 其量月ヲ 積
 積ハ 講本張ニ任ズ 自然 粉炭ノ 量ヲ 見ルニ 積判ト
 一 積ヲ 粉炭ニ 積テ 積ハ 講本張ニ任ズ
 粉炭ノ カキナラシ 粉炭ノ 積ハ 講本張ニ任ズ

上


〆タリ午前ナ時世カ積ムラサメキ若ク時ニ改ム人尼ハ防
 〆シツト下稱スルモノテホ布ラ巻テ揚ル里色ノキナリ被
 其ハ多ク英語ヲ解ス擧止動作皆淡ナラガルモ又其
 リ類情ニモアラバカ百餘ノ石ヲ積ムラナス冬日ヲ費スハ
 けり澤邊ニ失ルル感ナキニ非サルモ本艦崇厚ノ構造トヨ
 リ考ル件ニ非無理ナラヌ「ト云フ可リ且ツ従来各港ニテ培
 載ナシクハトモ決ニテ澤キカニ非サレ可シ
 右ノ報告ニ候セ

海軍少将	鈴木富三郎
海軍大尉	中島与三郎
少将	鈴木三郎
少将	三宅甲造
海軍少将	深見鐘三郎

明治廿二年二月

0444

古事類聚



孟買衛生ノ状況

孟買港ハ印度國西海岸中ノ都會ニシテ貿易ノ中心トナリ位
 置ハ北緯十八度五十三分四十五秒東経七十二度五十二分ニ位スル一
 小島ナリ然レモ現今ハ鉄道築造ノ為メ印度大陸ト連續シテ
 半島状ヲ形成シ面積ハ二十二平方哩アリ大半ハ平地ニシテ只ダ
 小山脈ニ線アリ其最モ高キヲマラバル丘ト稱ス但シ海面ヨリ
 百八十尺アルニ過キス

天候 孟買ハ他ノ熱帶地ト均シク夏期ノモニシテ之レヲ四期ニ

區別スルヨリハ寧ろ乾燥濕潤ノ二期ニ區別スベシ即チ毎等

十二月ヨリ翌年四月迄ハ乾燥期(快晴期)ニシテ連日快晴降雨ナク

東北ノモンスーン風ハ陸上ヨリ徐ロニ吹キ熱度稍ヤ緩慢(八十度内外)

トナリ就中一二月ノ頃ヲ良季節トス五月ヨリ十月迄ハ濕潤期

梅雨期ニシテ西南ノモンスーン風ハ海上ヨリ烈シク吹キ来リ昼夜

降雨連續シ氣温百度以上ニ昇リ九月十月ノ頃ニ至リ降雨減
少シテ日中一層氷熱ヲ増シ夜間ハ冷氣トナリ昼夜寒暖ハ差
十度餘ニ及ブアリト云フ

人種人口 世界中何レノ國ニ於テモ孟買ニ於ケルガ如ク異人種異宗
者ノ集合セル処ハアラハルベシ之レヲ大別スレバ印度人パーシ人欧州人
亞羅比亞人土爾其人マレー人支那人亞部矢尼亞人ガエー
人亞兒米尼亞人等ニシテ各々其宗上旨ヲ異ニシ風俗習慣等モ
亦タ其宗上旨ニ從ヒ異ナレリ故ニ動モレバ互ニ軋轉ヲ生シ鬭爭
絶エルトナシ今爰ニ孟買ノ人口ヲ宗上旨ニ從ヒ區別スルハハテノ
如シ

男	ヒンヅ	マホメット	ゼイニス	クリスタチ	パーシス	ゲエウ	佛教徒	アシースト	アタスチ	アラモ	合計
三、五八、一五	九、七、六、五	一、九、三、七	三、〇、四、三、七	二、四、七、〇、五	二、五、九、〇	一、三、七	一、一	四	一、二、五、八、〇、三		

女	一九七四六一	一六〇八二	九九〇八	一四八七三	二二七五三	二四三一	五三	五	二	三三〇三七
合計	四三三六	一五二四七	三三二二五	四五三一〇	四七四五八	六〇三二	一九〇	一六	六	一五八二七四

紀元千八百八十一年ニ於テハ孟買ノ人口七十七万三千百九十六人ナリシモ其
 后々十年間ニ西万八千九百六十八人ノ増殖ヲ見ルニ至レリ而シテ各宗
 旨共男女ノ数非常ノ差アルハ政事上或ハ商業上ノ為メ男子ノ
 獨身者他國ヨリ移住シ終ニ土着スル者多キガ為メナリ又日本
 人ニシテ当地ヘ居住スル者ハ男十五名女二十五名アリ其内五六
 名ハ綿花會社ヨリ派遣シタル社員ニシテ正業ヲ營ムト雖モ
 他ハ賤業ニ從事スル者多シ

戸數 孟買ノ戸數ハ二万九千八百十二戸アリ其内千五百二戸ハ空家ニ
 屬シ全人口ノ内一千七百二十二名ハ貧民ニシテ家屋ヲ有セズ道路
 眠食ス故ニ全人口ノ家屋全數ニ分割スルキハ一家ニ付二十八人ツ
 同居ノ比例トナレリ即チ一家ハ一家族ノ所有ニアラズ數家族之シ

居住シ廣大ナル家屋ニ五十家族以上モ居住スルモノアリト云フ

体格 土民ノ体格ハ男女共ニ日本人ニ比スレバ大ナル者多シ然

レモ筋肉ノ發育不完全ニシテ菲薄骨立シ力量ニ乏シク動作

澁滯ナラズ皮色ハ暗褐色ニシテ体毛多ク皮膚ニ色澤ナシ

顔面ハ眼球陷凹顴骨隆起シ鼻梁高ク眉毛濃厚前額

狭小ナリ以テ一見疲勞ノ状ヲ呈スパーシ人ハ男子ニ在テハ骨格ノ

偉大ナルヲ強シト歐洲人ニ譲ラス皮膚ノ色澤ハ日本人ニ比シ

稍暗色ヲ帯ビ体毛ニ密ム婦人ハ皮色蒼白体格小ニシテ一般

ニ軟弱ノ状ヲ呈ス

衣服 宗派ノ異ナルニ從ヒ衣服及ビ化粧ニモ多少ノ差異アリパーシ

教徒ノ男子ハ一種ノ冠然タル帽ヲ頂キ外套ノ如キ長脊廣又

白袴ヲ着シ靴ヲ穿ツ女子ハ薄キ絹布ヲ頭部ヨリ軀体ニ至ル

迄被ヒ帽ヲ用ヒズ腰下ニハ歐風ノ袴ヲ着シ靴ヲ用エ且ツ耳

輪鎖圍于腕及ヒ手指ニ歐人ニ於ケルカ如ク價値アル金銀寶
石ヲ以テ裝飾トス

ヒンヅ。フホメット宗及ヒ其他ノ土民ノ服装ハ略ホ一様ニシテ男ハ
上部ニ白色ノ金布ヲ纏ヒ腰下ニ着色シタル布片ヲ卷キ其
一端ヲ股間ヨリ右方通過シテ腰部ニ固着シ一般ニ靴ヲ穿タズ
俱シ時トシテハ一種ノ奇形ナル靴ヲ穿ツ者アリ又タ支那人ノ如ク頭
頂ニ少許ノ毛髮ヲ畜ヘ他ハ剃髮シテ赤色或ハ白色ノ綿布
ヲ幾重モ卷纏シ或ハ稀レニ帽ヲ頂ク者アリ而シテ宗音ヲ區別ス
ルニ前額中央ニ横徑或ハ縱徑ニ画ヲアリ或ハ圓形ニ赤黄色等ヲ
画キ以テ區別スル者アリ女子ハ束髮ヲ為シ帽ヲ用ヒズ被服ハ着
色シタル大幅ノ金布ヲ以テ巧クニ頭部ヨリ軀体ヲ被包シ腰部
ヒ下ハ男子ニ於ケルカ如ク布片ヲ纏ヒ通常洗足ナル者多シ又タ
女子ハ裝飾ノ為メ耳輪鼻翼ヲ穿テ金銀寶石ヲ飾リ頭

匣手腕手指下脚足趾等ニモ同様ノ裝飾ヲ為ス

食物 王民ノ食物ハ一般粗悪ニシテ宗旨上ノ為メ殆ンド肉食

スル者ナク中等以上ノ者ハライスカレト及び野菜ヲ以テ常食トナシ

下等社會ハ米糠ヲ糲リ水ニテ固メ之レニ食塩トカレトヲ加ヘタル

モノヲ喰ヒ牛乳ヲ飲用スル者多シ且ツ食事ノ度数ハ朝夕

二回ニシテ昼飯ヲ為サズ又食事ヲ為スニ食卓ノ設ケナク

床上ニ安坐シテ皿ニ盛りタル食物ヲ手指ニテ喰ヒ箸ヲ用ヒズ

飲酒ハ元来宗旨上ヨリ彼等ノ忌ム処ナレトシテ飲酒ス

ル者ナキニアラス其酒類ニ種々アリト虽モ普通飲用スベキハ

恰モ耶子樹ノ如キモルト稱スル高キ樹木ヨリ得タル物ニシテ

コブ汁ノ如キ白色ヲ帯ビ其味ヒ美ニシテ凡ソナベルセントノ虫

甬筒保兜分ヲ食旨ス此樹木ヲ所育スル者ハ酒税トシテ毎年

該樹木一本ニ付六ルピーツ、ヲ徴収セラルト云フ又夕彼等ノ

風習トシテ他宗家ニ到リ飲酒喫食スルヲ忌ム若シ他ノ宴會
 等ニ臨ム丁アルハ飲水ニ菓物ヲ食スルハ例外ナリト云フモ敢テ
 之レヲ好ムニアラズ昔テ本艦ニ茶話會ヲ開キタル際數多ク印
 度人亦艦セシモ一人トシテ食セシ者ナシ喫煙ハ彼等ノ嗜好ニ
 ナレト宗者ノ禁スル処トナリ他人ノ面前ニ於テハ決シテ喫煙ス
 フルコトナク私カニ使用スル者アリ且ツ或ル部ハ於テハ支那
 人ノ如ク陶片ヲ飲用スル習慣アリ之レガ為ニ中毒ヲ登シ入
 院治療ヲ乞フ者少カラズ又タ彼等ノ旅行スルハ必ス飲食
 物ニ毒物ヲ携帶スルヲ例トスト云フ

パシー人ノ食餌ハ歐人ト殆ント同様ニシテ食事ノ体裁モ略
 歐人ニ類ス

孟買市ハ元來穀物ニ獸肉ニ乏シキ地タリシモ政府ノ奨勵
 ニ依リ近來ハ大ニ増殖シテ諸種ノ食物ニ富ミ肉類野菜麵包

類ノ如キモ廉價ニシテ不足ヲ感スルコトナシ本艦碇泊中ノ食物代價表ヲ擧グレバ厄ノ如シ

牛肉 一カニ付一ルピ	羊肉 六カニ付一ルピ	鶏卵 一ダスニ付四アシナ
麵包 一ニカニ付一ルピ	魚肉 一カニ付四アシナ	野菜 一カニ付均一アシナ
七面鳥 一羽ニ付三カニ付一八アシナ	鳩 一ダスニ付三カニ付一四アシナ	バナナ 一カニ付三アシナ
家鴨 一ダスニ付八ルピ一八アシナ	家鶏 一ダスニ付六ルピ一八アシナ	パイナップル 一個ニ付六アシナ
牛酪 一カニ付十三アシナ	茶 一カニ付十三アシナ	砂糖 一ニカニ付十七ルピ
ミルク 一ダスニ付九ルピ一八アシナ	用 ^水 ビスケット 一ニカニ付十ルピ	氷 一カニ付一アシナ
カレー 一ニカニ付五ルピ一八アシナ	珈琲 一ニカニ付三十九ルピ	

〔飲用水〕 飲用水ハ孟買市ヨリ十五哩ヲ距ルビアー湖トルン湖(宇四

及三十三應ノ鉄管ヲ敷設ス)又ビ五十哩ヲ隔ルタンサ湖(四十八應ノ鉄管ヲ敷設ス)ヨリ鉄管ヲ設置シ市内西北部ノマラバル五又ビ東北部ノ

バンダワダ五ノニヶ所ニ設ケタル貯水池ニ導キ同所ニ於テ漚過シ
 水壓ポンプニ由リ大小数種ノ鉄管ヲ以テ市内各所へ配給ス
 ルノ装置ナリ市會報告ニ由レバ大約一日ニ費用スル水重量ハ
 二千九百瓦倫ニシテ人口一人ニ付三十六瓦倫餘ノ割合ナリ但シ
 已上三湖ノ水重量ハ比常ニ多量ニシテ降雨ノ時季ニ際スル時
 ハ汎溢スルノ量市内配給ノ量ニ數倍セリト故ニ曾テ水
 量ニ不足ヲ告ケタル丁ナシ水質ハ皆市會報告ニ係ル
 試験成績表ニ由レバ厄ノ如シ

千八百九十五年	四月八日	〇・二	〇・一八	〇・五	〇・一八	〇・四	〇・一〇	〇・六	〇・一二
比例	比例	凡ノ量	比例	比例	凡ノ量	比例	凡ノ量	比例	凡ノ量
遊離アモ尼亞性 母尼亞	遊離アモ尼亞性 母尼亞	格魯林	遊離アモ尼亞性 母尼亞						
百分三付	百分三付	百分三付	百分三付	百分三付	百分三付	百分三付	百分三付	百分三付	百分三付

本艦ニ於テ試験セシ成績ハ凡ノ如シ

色	臭味	反應	塩分	石灰	苛性鹼	硫酸	亜硝酸	硝酸	有機物
無色透明無臭無味	中性	少量	ナシ	ナシ	ナシ	少量	痕跡	ナシ	

已上ノ成績ニ由ルニ其質純良ナリト云フヲ得ズ故ニ亦在當

港へ寄港スベキ艦艇等ニ於テ、可及的蒸餾水ヲ用エルヲ可

トス差シ已ムヲ得サルニハ煮沸ノ上飲用スルヲ安全トス

飲用水代價ハ一噸ニ付一ルビ一ナシナリ而シテ飲用水ヲ運

搬スルニ小蒸気船ヲ用ヒ蒸気ポンプニテ艦内ニ汲入スルヲ以テ

輕便トス

暗渠 暗渠ハ歐人居留地及ヒ土民町ノ一分ニ布設サレタルノミ

ニシテ未ダ全市ニ普及スルニ至ラズ且ツ其構造ハ鉄管ヨリ成ルト

蛋モ動モスレバ損所ヲ生シ汚水管外ニ漏ル、丁アリ決シテ完全

ナルモノト云フヲ得ズ之が為ノ市内ニ不健康ヲ未タシ衛生上ノ
欠莫少カラホルヲ以テ市會ニ於テハ下水ノ増設及其改良ヲ主
帳スル者多シト云フ

住居 孟買市ヲ別ツテ歐洲人居留地ト土人町トス居留地ハ

海岸ヨリ高燥地タルマラバル丘ハ位置ヲ宜メ土人町ハ其東南ニ

並列ス居留地市區ハ概シテ道路開濶入道馬車道ノ區

分アリ且ツ樹木ヲ路傍ニ植付ケ日光ヲ遮断シ一般ニ清潔

ナリ家屋ハ宏大ニシテ石造或ハ煉瓦ニテ構成シ五六階ナルモノ

多シ土民ノ居住地モ亦タ街路可ナリ廣大ニシテ常ニ土民輻

輳シ一種ノ臭氣ヲ放ツト雖モ支那人居住地ハ尤ク不潔ト

云フニアラズ土民町ハ各宗派共ニ雜居シ上流社會ニアツテハ家

屋ハ煉瓦或ハ石造ニテ五六階ヲ有スルモノ多ク外觀美ナリ建

築法ハ歐風ニ均シク室内構造モ亦然リ而シテ裝飾美麗

ニシテ床上ニ老トテ敷設ス貧民ニアツテハ寐ヨルニ寐床ナク食
 スルニ草ヲ用ヒズ土間ニ寐食シ或ハ夜中屋外へ出テ睡眠スルノ
 習慣アリ

風俗

結婚ハ印度國ニ於テハ早婚ノ弊未ダ脱セズ男子ハ通常

十四五才女子ハ十二ニ至レテ結婚レ十三ニ至レテ分悦スル者少ク

而シテ其父母タル者ハ妊娠中或ハ出産スルヤ直ニ嬰兒ノ為ニ預

約ヲ為シ置キ彼等十三才ニ至レバ結婚セシムル者ナリ但シ配

偶者ハ同宗派ヨリ撰拔シ決シテ他宗ノ者ト結婚スルコトナシ

往昔ハ夫タル者死ニスルハ其妻ハ火中へ入リ或ハ水中へ投シ

論死スルノ悪弊アリレモ今ヤ其弊風漸次消失シ再婚ヲ忌ミ隱

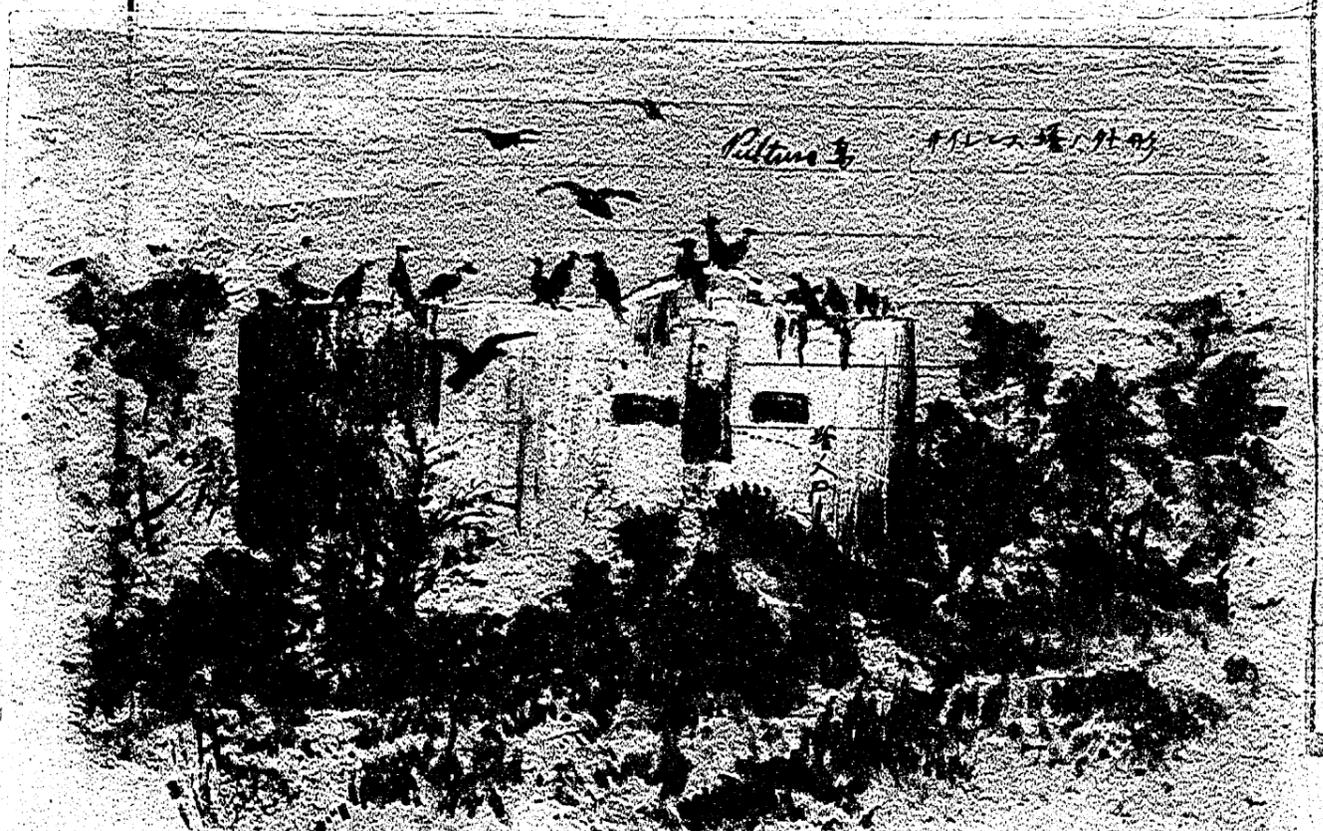
遁スルヲ例トス

死者ノ葬式ハヒンヅー教ニ於テハ皆ナ火葬トナス但シ之レヲ行フ

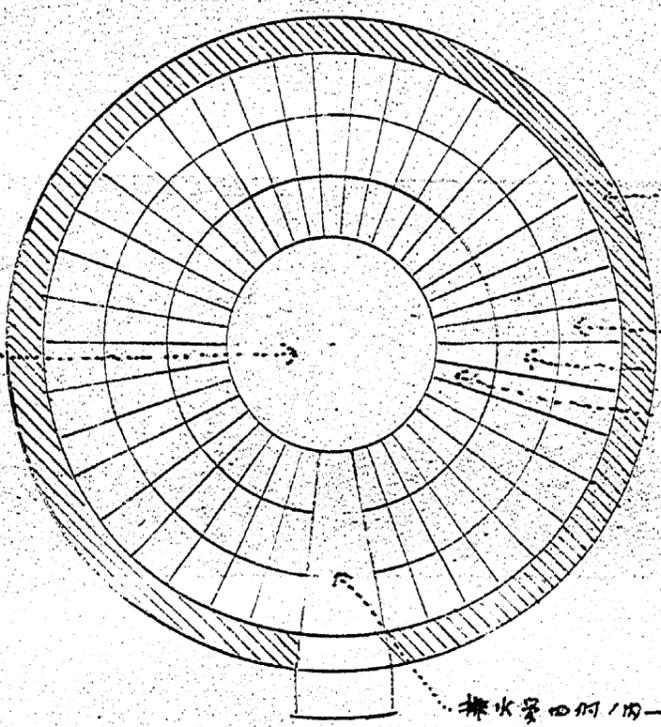
ニハ日本ニ於ケルカ如ク市外ニテ執行スルニアラズ市内空地ニテ

之レヲ為ス者ナリ然レモ臭氣甚ニカラズ市民ニ妨害ヲ興
 ハサルハ香薰アル新材ニ石油ヲ注キ火葬スルガ為メナリ
 ト云フ耶蘇教ハ佛徒ハ埋葬法ヲ行ヘリ然レモパーシー教徒
 ハ一種ノ奇体ナル葬式ヲ執行ス同宗中死者アル時ハマニ
 丘上ニ設ケタル共同墓地へ之レヲ運ビ一種ノ塔状内へ置キ恰モ鳥
 ノ如キ *Paltrus* ト稱スル鳥へ死体ヲ食セシムル者ニレテ初メ
 其塔内へ死体ヲ入ル、其ハ諛鳥諸所ヨリ飛ビ来リ数分時間
 ニシテ喰ヒ尽スト云フ其墓所ヲ一見スルニ同外ニ三個ノ四形
 ナル塔アリ上中下等ノ區分アリ此ノ塔ヲ名ケテ *Yankee of silence*
~~Paltrus~~ ト云フ其塔ハ高サ凡ソ三十尺直径四十尺モアルベシ塔内ノ
 装置ハ左圖ノ如ク男女及小兒ヲ置クノ區別アリ中央ニ圓形ノ
 大孔ヲ設ケ夫レヨリ地下ヲ穿ツ四個ノ暗渠アリ塔外ニ設置シタル
 骨格貯留溜ニ連續スル装置ヲシテ始メ十数日間ハ大孔内ニ

於テ骨格ヲ曝露シ然ル后々塔外野留溜ニ轉送スルモノトナリ



Piltan 塔 塔外野留溜



塔内構造
 男子及女
 子居
 小堂

火水坑 四角の内一隅

中央塔内構造
 塔外野留溜
 塔外野留溜
 塔外野留溜

0459

健康狀況

住民ノ健康ハ市區衛生委員ノ報告ニ由リテ

ハ不健康ト謂フナルヲ得ズ蓋シ其原由ハ季候不順暗渠ノ

不完全等ニシテ漸次用水ノ供給増加スルニモ係ラス汚水ノ

排除不充ナルカ為メ動モスレバ汚水地上ニ溢シ低地ニ貯留シ

土地常ニ湿润スルヲ以テナリト云フ

凡シ千八百九十二年中ノ死亡数及其比例ヲ掲ゲ参考トス

死亡数	五四	七〇	七五	一六九	三三八	二三〇	四六〇	一七二	六五	三九	四〇	三三	三三
痘瘡	六六	九三	一一	四三	二八	六〇	一四	三	七	九	四	八	三
麻疹													
熱性病													
痢疾													
肺病													
霍乱													
傷寒													
瘧疾													
他													
合計													

表中ノ痘瘡ハ本年流行性ノ異ナリ千八百八十三年也最多数

ノ死亡数ニシテ昨年ニ比シバ四百三十三ノ多数ヲ示ヒリ又夕痘瘡

ノ死亡数ヲ月別スレバ三月四月二月五月ニ於テ最モ多数ニシテ各人種中比例的ニ死亡数ノ多カリシハヒンツト宗者之レニ逆ク者ハ耶蘇教ノ土民ナリ而シテ死亡数最モ少ナキハパーシー教徒ナリ

(熱性病)ハ谷死者中最モ多数ヲ占メ死亡者中六二八四ハ軋張熱一〇七一ハ單純熱 三七一ハ間歇熱一九ハ腸室痲斯ニシテ本症ノ

為メ死亡スル者ハ四月二月一月又五月ニ於テ最多数ナリ又死亡尤モ多キ地方ハパール、シエーダ、マンドビ、カラ、タラオ等ニシテ同地

方ハ暗渠不充ナルが為メ常ニ土地濕潤居宅不潔ナリ

(麻疹)モ瘡瘡ニ於ケルが如ク其死亡数ハ三月四月二月一月ハ

候ニ於テ最多数ニシ

(肺列拉)ハ八月九月十月又七月多数ニシテ本症ニ罹ル者ハ

他ヨリ新タニ移住シタル者ニ多クシテ永住者ニ少シ

本患者二百十九名ノ内飲用水ノ水原ニ由リ罹病数死亡数

及其比例ハ尤ノ如シ

ピアトレンダヤノ湖水ヲ飲用セシ者	一七二	一二九	七五・〇
井水ヲ飲用セシ者	一五	一四	九三・三
不詳ノモノヲ飲用セシ者	三二	二六	八一・二

罹病数

死亡数

罹病数ニ對スル死亡比例

(癘瘡)ハ漸次死亡数増加スルヲ見ル

一千八百九十二年ニ於テ孟買市ノ死亡数及誕生数尤ノ如シ

死亡数 二六五 一八人口 毎一〇〇〇ニ付 三三・二六

誕生数 一五四 八六八

病院 孟買市街ニ都合十一ノ病院アリ次ノ如シ

セントジョージ病院(歐人慈惠院)ゼセ病院(土民慈惠院)眼科病院ヤチト氏
 病院ゴカクダス病院カマ病院ヒカルラ学校病院造船所ユ夫病院
 敬言視病院癩狂院マヒム病院是レナリ

右病院中二三ノ主ナル病院ヲ視察セシガ故ニ其概況ヲ掲グ

(セントジョージ病院)本院ハ歐州人ノ為メ設テラレタル普通病

院ニシテ居留地内ノポートジョージ街ニアリアポロバシグー波止場

ヨリ遠カラズ院長ハ陸軍々醫監ゼアルノツト氏ニシテ其他數

名ノ内外科醫之レニ從事ス看護人ハ四名ノ歐人婦女ノ外

十餘名アリ病床ニ從事ス

病室ハ新旧ノニアリ其構造ハ廣大美麗ニシテ室内ヲ

内外科室婦人室小児室眼科室産科室等ニ區分シ其

他外未患者診察所手術室ノ設テアリ室内ハ都テ整

<p>頃、空氣ノ流通佳良ナリ 本院昨一ケ年間ノ入院患者數一千八百八十一人外未患者 數、三千二百十六人アリ其内主ナル病症比列ハ左ノ如シ</p>				病名	一八九〇年	一八九一年	一八九二年
皮膚病	肝臓病	下痢	結核	瘰癧質斯	梅毒及下疳	麻刺里亞熱	赤痢
四、八	三、一	四、五	一、二	二、四	二、二	二〇、〇	三、七
五、三	二、一	三、八	一、〇	二、二	三、七	二〇、六	一、三
五、三	二、八	三、八	〇、八	三、〇	三、九	一六、七	一、一

本院維持費ハホートトラストノ補助金ト自費患者ノ入院料ヨリ成立テ一々年間ノ収入ハ一〇九八八一ルピアリ一々年間ノ支出金高ハ七六三〇四ルピアリナリ

〔ガルドス病院〕 本院ハ主人病院ニシテ一千八百六十九年始メテダヤムセツトゲーダエ、ゼ、ブホイト云フ富哲ナルパーシー人病院ノ設立ヲ必要トシ政府ニ建言シテ曰ク差シ政府ニ於テ一万磅又地所ヲ下賜サレ市役所ニ於テ其維持ヲ為スニ於テハ自分ヨリ一万五千磅ヲ出金スベキヲ建言セシガ不幸ニシテ歳入不足ノ為メ政府ニ於テ許下スルヲ得ズ終ニ其計畫烏有ニ帰シ数年間中絶セシガ偶々一富哲人ガルドスタツポール氏大ニ此企ヲ賛美シ十五万ルピアヲ寄附シ政府及市區負ヲ説キ一千八百七十年五月起エシ同七十四年四月竣スルニ至レリ

本院ノ建築費ハ三十六万七千四百六十九ルピーヲ費セリト云フ
 本院々長ハ陸軍々醫監パーク氏ニシテ之ニ從フ土人醫
 士数名アリ看病夫ハ歐州婦女四名ニシテ他ハ土人看病
 夫十餘名ナリ

本院建築ハ石材又木材ニ石灰ヲ附着シタル三階層ニ
 シテ上層ヲ外科室トシ下層ヲ内科室トス其内婦人室
 男子室及小児室ノ區別アリ凡ソ二百許ノ病床ヲ備ヘ其
 他ニ手術室外未診察所等附属シ其右側ニ殯所又倉
 庫等アリ

本院歳入ハ州費區費等ヨリ成立チ一千八百九十二年ノ總
 金高ハ五万三千六百四十八ルピー餘ニシテ歳出ハ四万九千五百
 九十六ルピー餘ナリ

昨年一々年間ニ於ケル入院患者數ハ三千六百六十七名外未患

者数ハ一万四千八百七名ニシテ最多数ヲ占ムル病症ハ麻刺

里亜熱帯麻質斯呼吸器病下痢結核赤痢及外傷等ナリ

〔セゼ病院〕（ケムガケ、ケツグハイ病院ノ
頭字ヲ取りセゼ病院トス） 本院ハ土民ノ施療ヲ掌リ孟買

中一ニヲ競フベキ有先ナル公立病院ニシテ建築ハ石材ニテ

構造セイレ前面ノ一棟ハ二階ヲ有シ之ヲ醫員詰所外

未患者診察所治療室花ニ薬局等ニ區別シ病室ハ

廣大ナル平家三棟アリ之ヲ二十四室ニ別ケ外科室及婦

人科室等トナシ各室共ニ床上ニパーアメントヲ敷キ鋼製ノ病

床五百廿五餘ノ備ヘアリ但シ平常入院患者ハ四百名外

外未患者ハ毎日二百餘名ツアリト云フ本院患者中

主ナル病症ハ肺癆梅毒諸熱性病赤痢外傷等ニシテ他

諸種ノ病症アリ其中日本人一名肝臟膿瘍ニ罹リ在院セ

シ者アリ

本院ハ都テ公費ヲ以テ維持スルモノニシテ年額ハ凡ソ十五万ヒ
 千レビ一(概ガ算額凡ソ
 七百八千四百ニギル)ナリトス

本院々長ハ陸軍一軍軍醫正ケレー氏ニシテ其已下英醫三
 名アリ各醫務ヲ分擔シ外ニ土民ノ助手醫十二名アリ
 テ醫務ヲ補助ス看病夫ハ英國婦女二十四名アリ懇口
 ニ看病ニ従事ス

本院邸内ニ附属醫學校アリ生徒七十名ヲ教育ス其内
 歐洲人ノ子弟モアレモ多クハ土民ノ子弟ナリトス修學年
 期ハ四年ニシテ英語ヲ以テ教授シ卒業ノ后ハ院内ノ
 助手醫タラシメ或ハ内地ニ於テ開業セシムル者ナリ本
 校ハ練瓦石造ニシテ各醫科教室アリ解剖室ノ如キハ
 死体二三個ヲ並列シ各生徒解剖ヲ練習セリ又校内
 ノ中央ニ博物館ノ設ケアリ諸種ノ標本並ニ人體動物

ノ骨格ヲ陳列セリ但シ其數多キニアラス

カマ病院

本院ハ富有ナルベルシア人カマ氏ノ創立セシ者

ニシテセセ病院ノ近傍ニアリ均シク慈惠的ノ病院ニシテ貧

困ノ婦人小児ノシヲ施療シ男子ノ入院ヲ許サズ本院ハ

十年前ノ建築ニ係リ二棟アリ廣大ト云フニアラザレドモ

練瓦石造ヨリ成リ外觀堅牢室内ノ裝飾美麗ニシテ

各棟共ニ五十名許ノ入院者アリ看護夫ハ英婦人荒ニ

印度婦人ニテ十名内外アリ殊ニ小児室ニ玩弄物等ヲ

備ヘ懇ロニ優待セリ又患者中西洋婦人モ兩三名入院

セシ者アリ

本院醫務ハ女醫ノミニシテ分擔シ院長ハペシーネフソン夫

人ニシテ同子トマクドナード嬢ハ内科ヲ掌リウヲク嬢シヤカナ

ダン女ヲニ名ハ外科擔當アリト云フ

已上記載ヒレ如キ衛生ノ結果ニ由ルハ孟買公衆ノ健康
 状況ハ不良ト言ハカルヲ得ス今死亡全數二万六千五百十
 八人ヲ人口八十万千七百六十四人ニ割ルハ人口一千ニ付三二・二
 六ニシテ千八百八十七年ヨリ千八百九十一年ニ至ル五ヶ年間ノ
 平均死亡比例ハ人口一千ニ付二七・五〇ナリ然ルニ英国内各
 所ニ於ケル十ヶ年間ノ平均死亡比例ヲ見ルニ人口一千ニ
 付最低死亡比例ハ一七・三最高死亡比例ハ二四・八ナリ今之
 レヲ孟買死亡比例三二・二六ト比較スルハ人口一千ニ付キ
 七・四六ノ差ナリ斯ノ如キ不良ノ結果ハ已ニ前記ニ陳ル
 如ク暗渠不足ニシテ汚水ノ排泄充分ナラス不斷土地濕
 潤スルニモ係ラズ土民ノ習慣トシテ夜中屋外ニ睡眠スルモノ
 多ク偶々屋内ニ臥スルモ其構造甚ダ不完全ニシテ地板ヲ
 備フルモノ少ク土間ニ於テ就眠スル者多ク是等衛生上ノ

欠矣少ナカラキル原因ニ帰スルベシ殊ニ当地ハ元来麻刺里
 亜熱毒ヲ有シ且ツ氣候ハ昼夜寒暖ノ差大ニシテ夜半ニ
 至レバ冷氣ヲ覺ユルコト甚ダシク為メニ戶外ニ臥スル者ハ動
 モスレバ冷氣ニ冒ホレ呼吸器病ニ罹ル者多シ加之貧民ニ
 アツテハ一家屋内ニ群集シ室内身体不潔ナルヲ以テ不幸
 ニシテ一朝悪疫蔓延流行スルハ其蔓延ノ速カナルハ言ヲ俟
 タズ右ノ如ク当地ハ不健康地タルヲ以テ本艦在港中上陸
 員ニ必ズ規尼涅ヲ共ニ陸上ニ於テ冷水ノ飲用ヲ禁ビ
 シガ其結果ナルヤ熱性病ニ罹リシ者ナカリシハ幸福ト
 シテベシ故ニ不任当地へ来ル人員ハ必ズ規尼涅ヲ用ヒ飲
 水等ニ注意スルヲ必用トス右衛生視察大畧報告書任
 美也

明治廿七年二月

海軍大軍醫

鈴木重

海軍

海軍大軍醫

萩澤好貞

海軍

吉野艦長河原要一殿